



2025年10月 セキュリティ対応状況と検知状況

2025年11月
NTT東日本株式会社

セキュリティ対応状況

2025年10月15日にバラクーダネットワークスジャパン株式会社より、「2025年ランサムウェア インサイト レポート」の日本語版が公開されております。同レポートでは2024年8月から2025年7月の1年間を対象に、米国・欧州・アジア太平洋地域におけるランサムウェアの被害状況やセキュリティ対策状況の調査が行われており、当該期間で57%の組織がランサムウェア被害を受け、うち31%は複数回攻撃を受けていました。

また、被害を受けた組織の32%が身代金を支払ったにもかかわらず復旧手段が提供されないケースなどもあり、うち41%の組織（被害を受けた組織の13%）はすべてのデータを回復できなかったと報告されています。一方で、被害を受けた組織の65%はバックアップからの復旧に成功しており、適切なバックアップ戦略の重要性が改めて浮き彫りとなっています。エンドユーザ視点の対策としては、ランサムウェアの主要な攻撃経路はメールであることから、不審なメールやリンクを開かないことが重要となります。

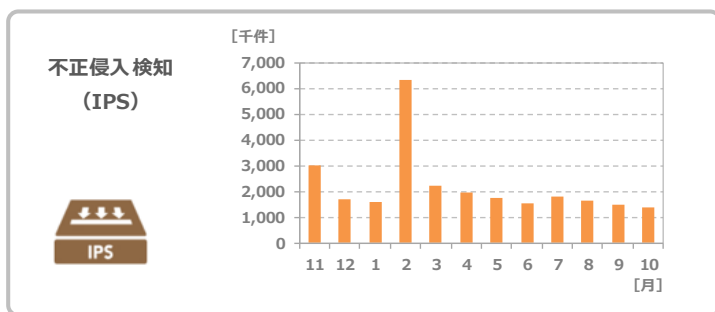
■ 参考バラクーダネットワークスジャパン株式会社

<https://www.barracuda.co.jp/ransomware-attackers-keep-coming-back-more/>

セキュリティ検知状況

- ・ おまかせサイバーみまもり専用BOXで検知したアラート数をNTT東日本が集計
- ・ 集計期間：2024年11月～2025年10月

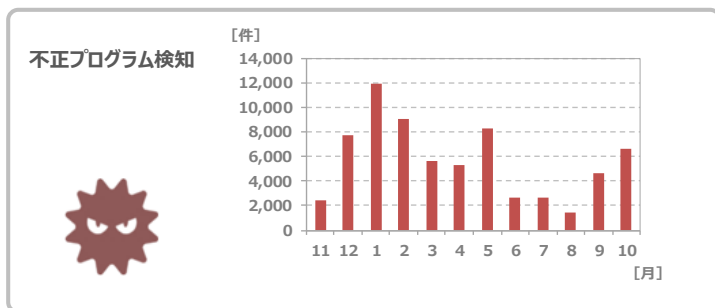
不正侵入検知



直近12カ月平均：2,209,066件
2025年10月：1,383,799件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況が続いています。
引き続きサーバ等を公開する際には十分にセキュリティ対策を実施してください。

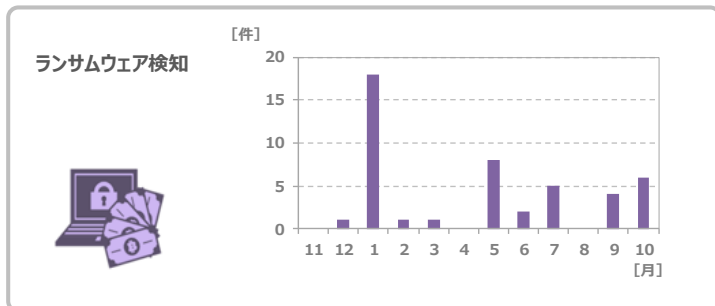
不正プログラム検知



直近12カ月平均：5,715件
2025年10月：6,685件

直近12カ月の月平均に比べ高い検知状況となっています。
インフォスティーラー (Infostealer)^{※1}などの不正プログラムについては、引き続き十分に注意してください。

ランサムウェア検知



直近12カ月平均：4件
2025年10月：6件

10月は検知数が6件となり、直近12カ月の月平均に比べ高い検知状況となっています。
本紙のセキュリティ対応状況（ランサムウェア被害状況や対策）を確認いただき、最新の注意を払って対策・対応いただきますようお願いいたします。

※1：感染した端末から機密情報を密かに盗み出すことを目的としたマルウェア(不正プログラム)の一種。
パスワード、クレジットカード情報、内部ファイルなど、あらゆる情報を盗み取るために設計されたマルウェアのこと。